

YKK AP「ハーバード大学デザイン大学院」の研究を支援 黒部と京都の現地研究プロジェクトに調印

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、この度「ハーバード大学デザイン大学院（以下、GSD）」が日本の黒部と京都で行う現地授業「デザインスタジオ」への支援を行うことのお知らせします。

この「デザインスタジオ」は、「地方都市の活性化」と「環境問題の先進的取り組み」を題材に、2024年度8月～1月、2025年度8月～1月の2年度にわたって行われるものです。京都議定書誕生の地である「京都」と、その実現モデルである「黒部」にて、GSDの教員と学生による実践的な研究プログラムを予定しています。研究プログラムにはYKK AP社員も参加し、活動の支援や研究情報の提供を行います。

「黒部」では、3,000m級の立山連峰から水深1,000m以上の富山湾まで、高低差4,000mの地形が生み出すダイナミックな水資源を中心に、農業や工業、あるいはYKK不動産が取り組む風や地下水などの自然エネルギーを活用したローエネルギーな「まちづくり・住まいづくり」の「パッシブタウン」(*)などが研究の対象になる予定です。

この支援により、YKKグループの環境問題への取り組みを世界に向けて発信し、世界最高峰の教育プログラムをYKK APの人材育成に活用するとともに、GSDとの接点や人脈を構築していきます。



GSD 学部長のホワイトニング教授とYKK AP会長の堀秀充による調印式



研究プログラムテーマ「黒部」



YKK不動産が取り組むパッシブタウン

【GSD デザインスタジオへの支援概要】

支援先 : ハーバード大学デザイン大学院

支援内容 : デザインスタジオの活動支援、行政との連携、研究情報の提供と共有

題材 : 「地方都市の活性化」、「環境問題の先進的取組」

対象 : 京都議定書誕生の地「京都」、実現モデルの「黒部」

活動 : 実地授業（教員 2 名、学生 10～12 名）

期間 : 「2024 年 8 月～2025 年 1 月（黒部）」

「2025 年 8 月～2026 年 1 月（京都）」の 2 年間

※パッシブタウン ウェブサイト:<https://www.passivetown.jp/>